

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 23 年 10 月分

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況 (2月29日現在)	発生場所
1	H23.10.6	原子炉冷却材浄化系設備 (原子炉水中の不純物を除去し水質を維持する設備)	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩装置の洗浄等で弁やポンプを制御する制御装置において、装置の異常を示す警報が発生した。 原因調査の結果、当該制御装置の電源ユニットの不良によるものと判明した。 このため、当該電源ユニットの取替を実施し復旧した。	処置済み	原子炉 建 屋
2	H23.10.8	プロセス計算機 (プラントの運転状態の監視・管理の補助設備)	2系統あるプロセス計算機通信装置のうち1系統において、通信機能異常を示す警報が発生し、即復旧する事象を確認した。 原因調査の結果、製造メーカーの工場において確認試験を実施したところ、本事象の再現性がなく異常は確認されなかったことから、一過性の通信不良であったものと推定した。	処置済み	中 央 制 御 室
3	H23.10.9	火災一斉通報連絡装置 (トラブル発生時等に関係個所への通報連絡を行う設備)	2台ある火災一斉通報連絡装置のうち1台において、通報連絡訓練を実施した際に、音声連絡による火災一斉通報が連絡されず、FAX連絡についても印字不良が発生した。 原因調査の結果、当該装置のシステムのプログラムに不備があることが判明した。 このため、当該装置のシステムのプログラムを修正した。	処置済み	事務本館

4	H23.10.19	換気空調冷却水設備 (建屋内の空調設備に冷水(非放射性)を供給する設備)	4台ある換気空調補機常用冷却水系冷凍機のうち1台の簡易点検を実施したところ、潤滑油タンク内からOリングの破片を発見した。 このため、当該冷凍機を分解点検したところ、当該冷凍機の圧縮機内に使用しているOリングの破片であることを確認した。 原因調査の結果、当該圧縮機のケーシングを組み込む際に芯ずれ等によりOリングがはみ出し、切断したものと推定した。 このため、当該圧縮機のケーシング組込み時に発生する芯ずれ等を防止するためにガイドボルトの本数の増加や太さの変更を実施し、当該Oリングを交換し復旧した。	処置済み	タービン 建屋
5	H23.10.21	計装用圧縮空気系空気圧縮機 (建屋内外の計装、制御系の機器に非放射性の圧縮空気を供給する設備)	2台ある空気圧縮機のうち1台において、空気圧縮を行う運転モードから空気圧縮を休止する運転モードへと切り替わったときに減少すべき空気圧縮機用の冷却水流量が、減少していないことを確認した。 原因調査の結果、冷却水流量を調整するための弁内部に、水垢がわずかに付着し、弁の動きが緩慢になったものと推定した。 このため、当該弁の水垢の除去を行い、正常に動作することを確認し、冷却水流量が正常な状態であることを確認した。	処置済み	原子炉 建屋

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。